

# 大規模改築で発電量も増加

# 仁多発電所が 運転再開

大規模改築のために平成26年8月から運転を休止していた三成の仁多発電所が、この程改築を終えて運転を再開しました。これを記念して、7月24日に運転開始式と見学会が開かれ、県議会の糸原議長をはじめ、県企業局の黒田次長など多くの来賓が出席し、運転開始を祝いました。

式典の後、発電所内に移動し、環境政策課の担当者から改築事業や発電所の概要について説明があった後、勝田町長が運転開始のボタンを押し、水車と発電機が動き始めました。

その後の施設見学では、発電所裏の水圧鉄管上部にある上水槽付近まで移動して、水圧鉄管や上水槽の説明がありました。仁多発電所の年間見込発電量は164万7000キロワット時(kWh)で、固定価格買取制度の期間中は年間約6000万円の売電収入を見込んでいます。



仁多発電所概要  
 認可発電出力 198kW  
 認可取水量 0.93m<sup>3</sup>/s  
 有効落差 28.7m  
 年間見込発電量 1,647,000kWh

# 奥出雲町消防団 ダブル表彰纏獲得

## 島根県消防操法大会

県下の消防団の技術の向上と士気の高揚を図る、第59回島根県消防操法大会が8月9日に益田市で開催され、小型ポンプの部に出場した亀嵩分団が見事優勝、またポンプ車の部に出場した横田分団も

準優勝という輝かしい成績でした。今年の大会は、益田市の県立益田工業高等学校跡地で開催され、小型ポンプの部に21チーム、ポンプ車の部に13チームが出場し、鍛え上げた消防技術を競いました。炎天下での競技となりましたが、奥出雲町から出場した両出場隊ともこれまでの練習の成果をいかんなく発揮し、見事な操法を披露しました。また、亀嵩分団が記録した197・5点は、近年まれにみる高得点となりました。

その日のうちに行われた報告会とパレードには多くの町民が参加し、出場した選手たちの健闘をたたえました。両出場隊の皆さんは、この大会に向けて、家族や地域の方々の支えや職場のご理解のもと、長期間にわたる厳しい訓練を続けてこられました。選手、関係者の皆さんおめでとうございました。



亀嵩分団出場隊（小型ポンプの部）



横田分団出場隊（ポンプ車の部）

## 出場隊の紹介

【小型ポンプの部】	【ポンプ車の部】	【亀嵩分団】
隊長 三澤 征一郎	指揮者 白根 俊彦	指揮者 白根 俊彦
1番員 山根 俊弘	1番員 鹿野 努	1番員 若月 洋二
2番員 藤原 春樹	2番員 藤原 晃	2番員 安部 慎一郎
3番員 藤原 豊	3番員 石原 勝伸	3番員 松原 和哉
補員 橋 勝伸	補員 尾崎 泰明	4番員 藤田 忠訓
		補員 川島 史行
		補員 尾崎 泰明

## 奥出雲病院で 消火技術大会



病院での消火技術の向上と、防火意識の高揚を目的に、奥出雲病院の「消火技術大会」が7月16日に行われました。

この大会は平成14年から毎年行われ、今年で14回目の開催です。今回は、部署毎に組まれた6チームが出場。消火器による消火と消火栓からの放水による消火を行い、その正確さとスピードを競いました。出場者は、万が一の事態に生かそうと、真剣に取り組んでいました。

また、避難方法について雲南消防本部から指導を受けました。大会を通して、出場者はもちろん病院関係者全員が防火意識を新たにしています。